

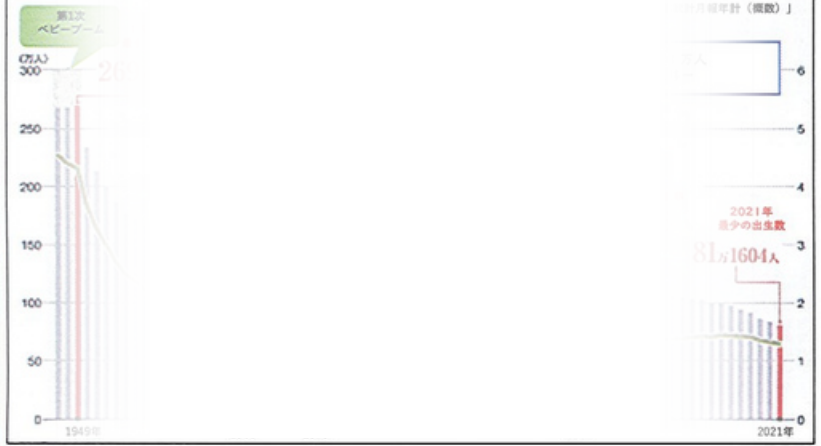
鳥取県規模の人口が1年で消失...!!

ナ禍も相まって普及しているDX化についての取組みは引き続き重要になる。

人口減が国を滅ぼす

「少子高齢化」については以前からいわれているが、今年6月に発表された21年の出生数は前年比約2.9万人減の81万人と過去最少を記録した。ちなみに最多出生数を記録した第一次ベビーブームの1949年は269.6万人だった。このまま少子化が進むと何が起きるのか。年金問題、社会保障といった問題から経済活動にも大きく影響する。日本の人口維持には一人の女性が生涯に2.07人を出産する必要があり、現状は1.3人となっていることから問題の深刻さが伺える。

中小企業が抱える課題として全業種で上位に上がるのが人手不足だ。今後労働人口の減少が更に加速していく中で、コ



ナ禍も相まって普及しているDX化についての取組みは引き続き重要になる。

しかし、日本の経営者の平均年齢は約60歳となっており、既存のやり方を貫く姿勢をとる企業も少なくない。リスクや効果を検証した上で、時代の変化に伴った試みを実施していくことは今後の鍵になるかもしれない。

(出典：週刊東洋経済「データで見る 日本の人口減」)



銀行員も知らない 金融機関の格付け

銀行などの金融機関が「客観的評価項目」を基準として129点満点で中小企業を格付けしている事はご存じですか？19年に金融庁の森長官が点数で融資することを廃止にし、新たに「主観的評価項目」を基準として評価をしていく方針だった。だが、評価基準が曖昧なため「客観的評価項目」が今も生きている。

要約すると「客観的評価項目」は自己資本比率、収益性など数字で表せるもの。「主観的評価項目」は成長性、マネジメント力など数値化が難しい項目が評価基準となっている。

例えば売上高が100億以上でも129点中8点しかつきません。評価基準を把握して数値目標の設定、事業計画等を見つめ直し、資金調達余力のある経営をしていく事が大切だと強く伝えたい。

FAXでの融資案内にSTOP

FAXでの融資のご案内を見たことありませんか？「低金利」などの魅力的な文言、「金融機関を問わず」など何となく公の機関を彷彿とさせる文言、「大手企業の社名に似せた企業名」など。最近では、決算書や印鑑証明書を要求するなどの、本当の金融機関と同様の流れで惑わすべく、油断すると騙されてしまいます。FAXの内容が本音か嘘かを見抜くのは実はとても簡単です。

保証料という名目でお金を振り込ませる詐欺かもしれません!



金融庁のホームページにある「登録貸金業者情報検索サービス」で検索にヒットするかどうか調べるだけで、焦っている時ほど、一度深呼吸して冷静な判断ができるようになります。

「歯の定期検診」20歳の第1位が...

歯の資産価値とは?

歯は口あって当たり前前歯は口を閉じる役割を担っている。歯の資産価値とは、歯の健康状態や審美性、そして歯の維持に要する費用など、歯の価値を総合的に評価することです。

国税・社保 差押えへのカウントダウン

コロナ前と令和2年の国税猶予件数、税額を比較すると約4万件から28万件、約700億から1兆2千億円と跳ね上がっている。社会保険料等も同様になり、追いついていない状況がイメージできる。コロナ融資の返済と共に国税等も回収が始まる。そこで猶予期間の再延長や他の猶予制度の申請、歯は口あって当たり前前歯は口を閉じる役割を担っている。歯の資産価値とは、歯の健康状態や審美性、そして歯の維持に要する費用など、歯の価値を総合的に評価することです。

ご意見・ご感想 心よりお待ちしております!

E-mail: info@p-m-g-fukuoka.jp

